



# TAIHEIYO CEMENT NEWS LETTER

2019年12月2日

## 都市ごみ焼却主灰の水洗処理施設運転開始について

太平洋セメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：不死原正文）は、さらなる廃棄物のセメント再資源化を推進するため、熊谷工場（埼玉県熊谷市）内において新たに建設した都市ごみ焼却主灰水洗処理施設の営業運転を開始しました。

当社は、持続可能社会の形成を担う一翼として、様々な廃棄物や副産物のセメント資源化を推進しています。なかでも都市ごみ処理施設から発生する焼却灰（主灰および飛灰）は、2001年より熊谷工場でセメント資源化を開始して以降、同工場では年間約60,000トン（主灰48,000トン、飛灰12,000トン）、当社他工場においてもその再資源化に取り組んでいます。

廃棄物にはセメント原料に好ましくない塩化物を含んだものが多く、特に塩化物濃度が高い飛灰の再資源化には脱塩が不可欠であったため、その技術を確認し運用しています。また、主灰は効率よく脱塩することが困難であり、塩化物濃度が低いため異物除去等の前処理を行い再資源化しています。

昨今、さらなる廃棄物のセメント再資源化が望まれており、それを実現するために塩化物濃度は低いものの、処理量が多い主灰からの脱塩技術を開発いたしました。このことにより、より多くのその他塩化物を含む廃棄物がセメント再資源化できるようになりました。

この主灰の水洗脱塩技術<sup>※</sup>は、従来の水と混合し水洗脱塩を行う処理に比べて、効率的な塩化物除去を実現し、かつ、水洗に必要な水量の大幅削減が可能です。今般、その技術を活用した主灰水洗処理施設を熊谷工場内に建設し運転を開始しました。本処理施設では同工場で受け入れている主灰を全量水洗脱塩します。

当社は本技術を通して、さらなる資源循環型社会の形成に貢献してまいります。

### <主灰水洗処理施設の概要>

名称	熊谷工場 主灰水洗処理施設
所在地	埼玉県熊谷市三ヶ尻 5310（熊谷工場内）
事業内容	主灰の水洗脱塩処理およびセメント資源化に係る事業
処理能力	日量 190 トン
総事業費	7.8 億円

※ 「ごみ焼却灰のセメント原料化方法及び原料化装置」（特許第 6274875 号）

<本件に関する問合せ先>

太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ

TEL. 03-5531-7334 FAX. 03-5531-7551

太平洋セメント株式会社

〒135-8578 東京都港区台場2-3-5 台場ガーデンシティビル